

入学にあたっての諸注意

(1) 配付物の確認

『学生証(カードケースに封入)』『通学証明書』が配付されたか、学生IDが自身のものに間違いがないか、ご確認ください。また、必ず学生証の氏名の表記を確認してください。大学が発行する在学証明書等の証明書に記載される氏名は一部例外を除き学生証と同じ表記となります。英文の証明書には「学修支援システム DUET(以下、DUETという)」にログイン後、右上の言語切替ボタン「English」から英語版画面に遷移した際に表示される英字氏名が記載されます。DUETにログインして表記に誤りが無いかを確認してください。間違いがある場合は所属学部窓口へ申し出てください。

(2) 学生証・ユーザID通知書・通学証明書について

①『学生証』について

- ・学内においては、学生証は常に携帯してください。証明書の発行や学期末試験受験の際等に必要となるほか、施設入館(図書館、ラーニング・commons等)にも必要な場合があります。
- ・本学の学生であることを証明するだけでなく、ICカードの機能がついており、大切な情報が含まれているので、紛失したり盗難に遭ったりしないように、管理には十分に注意してください。万一、学生証を紛失した場合、不正利用防止のため所属学部窓口へすぐに申し出てください。

②『ユーザID通知書』について

- ・入学前サポートサイトから『ユーザID通知書』を確認してください。詳細は別紙「ユーザID通知書について」をよく読んでください。

③『通学証明書』について

- ・JR西日本、近鉄、京都市営地下鉄、京都市バス、Osaka Metro、大阪シティバス、京阪、阪急等、多くの交通機関の通学定期券は、「学生証」と「通学証明書」の提示が必要です。JR西日本、近鉄、阪急等、購入にあたってWEBからの事前予約が必要な場合がありますので、通学定期券の購入前には必ず各交通機関のHP等をよくご確認ください。
※通学定期券の新規購入時に「卒業予定年月日」が記載された通学証明書等を交通機関へ提示することで、それ以降は通学証明書等の提示なしで券売機による通学定期券の継続購入を可能とする交通機関が増えてきております。現在、同志社大学では、「学生証」「通学証明書」について、以下の取扱いをしております。そのため、交通機関へ「卒業予定年月日」を証明する際には「学生証」の有効期限をご利用ください。また、通学定期券の購入にあたっては、通学を証明する「通学証明書」に加えて、必ず「学生証」も提示(写真のアップロード)してください。
学生証：標準年限(学部生であれば4年)をもとにした有効期限を印字
通学証明書：年度末までを有効期限として印字(毎年度発行)
- ・通学定期券以外にも、学生割引や区間割引等、各交通機関で独自の割引サービスを提供することがあります。
※京田辺校地への通学については、京田辺キャンパス～近鉄三山木駅間において大学構内へ乗り入れの割引運賃バスを運行しています。割引運賃にて乗車する場合は、同志社生協京田辺ショップで販売している専用回数券の購入が必要です。近鉄京都駅から定期券を購入する場合、興戸駅と三山木駅では1ヶ月定期券の差額が少ないので、通学定期券の購入にあたり、この点も考慮して慎重に検討し、通学証明書の「通学区間」欄を記入するようにしてください。
- ・通学証明書には、自身の現住所(住所届にて大学へ提出の現住所)と通学区間(自宅最寄駅から大学最寄駅(区間は最短経路))を、容易に消去できないペンで記入してください。複数の交通機関を利用する場合はそれぞれ記入してください。
※定期券を購入しない場合でも、通学証明書への現住所の記入が必要です。

大学最寄駅	
【今出川校地】 京都市営地下鉄烏丸線：「今出川駅」 京阪：「出町柳駅」	【京田辺校地】 近鉄京都線：「興戸駅」または「三山木駅」 JR学研都市線：「同志社前駅」または「JR三山木駅」

- ・自身の現住所に変更があった場合は、DUETにてWEB上で住所変更登録を行うとともに、以下の窓口で『通学証明書』の住所変更手続きを行ってください。父母等・連帯保証人の住所が変更になった場合は、DUETでの住所変更登録の手続きができませんので、下記窓口で「住所変更届」を速やかに提出してください。
※通学証明書に記入の現住所や通学区間の内容に訂正、変更がある場合、必ず以下の窓口にご相談してください。
訂正、変更前の内容に対して本学の訂正印の押印をします。
- ・通学定期券は自宅から大学の教室内で受講する授業の科目登録がある校地までの最短経路のものについて購入することができます。大学の教室内で受講する授業の科目登録が今出川・京田辺校地の両校地にある場合は、今出川・京田辺キャンパス教務センター(各校地教務課)へ申し出てください。
※クラブ・サークル活動・就職活動等、正課授業以外での両校地定期券購入は不可(なお、開講期間中には運賃無料の今出川ー京田辺シャトルバスがあります)。

- ・記入にあたって質問等がある場合は、以下の窓口または今出川・京田辺キャンパス教務センター（各校地教務課）で相談してください。

窓口
【今出川校地】 <ul style="list-style-type: none"> ・神学部生は神学部事務室（神学館1階） ・文・法・経済学部生は今出川キャンパス教務センター内の各学部窓口（良心館1階） ・商学部生は商学部事務室（至誠館1階） ・社会・政策学部生は新町総合窓口（臨光館1階） ・グローバル地域文化学部生はグローバル地域文化学部事務室（志高館1階）
【京田辺校地】 <ul style="list-style-type: none"> ・生命医科、スポーツ健康科、心理、グローバル・コミュニケーション学部生は京田辺キャンパス教務センター総合窓口（成心館1階） ・文化情報学部生は文化情報学部事務室（夢告館1階） ・理工学部生は理工学部事務室（理化学館2階）

(3) 在学証明書について

- ① 1通につき100円が必要（和文。英文は300円）です。証明書自動発行機にて即日発行ができます。証明書自動発行機のパスワードは大学付与のユーザIDに対するパスワード（DUETやMicrosoft365利用時の英数字、記号のもの）となっています。
- ② 証明書自動発行機を利用する場合は、「学生証」が必要です。
証明書自動発行機は、京田辺校地では成心館1階・情報メディア館1階、今出川校地では良心館1階・尋真館1階・寒梅館2階・志高館1階にあります。
- ③ 窓口発行の場合は、「学生証」の提示が必要です（各学部担当窓口は、『通学証明書』関係と同様）。

(4) 連絡・情報提供について

大学から学生への連絡・情報提供は、同志社大学ポータル、大学HP、DUET、大学が交付しているメールアドレスや掲示板等を通じて行うので、こまめに確認してください。同志社大学ポータルや大学が提供するMicrosoft365のメールは、専用アプリをApp Store及びGoogle Playストアからインストールすることでスマートフォンからいつでも容易に確認することができます。休講情報や期末試験情報については、DUETにより情報が提供されるので、定期的にログインし、閲覧してください。掲示板の位置は、学生支援センターHP「新入生ガイド」(<https://student-support.doshisha.ac.jp/s-support/student-life/orientation.html>)に掲載していますので、ご参照ください。
同志社大学ポータルでは地震など緊急時には安否確認のアンケートが届きます。プッシュ通知を受け取れるように、必ずスマートフォン等でアプリをダウンロードしてください。

同志社大学ポータル	
Web版 https://portal.doshisha.ac.jp/ またはWebシングルサインオンよりアクセス	アプリ版 APPStore  Google Play 

(5) 秋学期学費納付書の送付について

同志社大学では、秋学期学費納付書については休学・退学等の学籍が確定した後に送付しているため、他大学と比べて納付書の送付時期が遅く、**10月上旬**になっています。例年問い合わせが多いので、父母等・連帯保証人にその旨をお伝えください（なお、年額学費を既に納入済みの場合は、納付書は送付されません）。

(6) DO Weekの授業受講について

同志社大学では、通常の教室での授業は13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本としています。学期始めの1週間（Doshisha Opening Week "DO Week"）は、履修科目登録を行うオリエンテーション期間と初回のオンデマンド授業が並行する期間となります。履修要項やシラバス等を確認のうえ、授業1週目のオンデマンド授業を計画的に受講してください。詳細は大学HP (https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html) を参照ください。



大学HP
DO Weekから始まる
新たな学び

(7) 科目登録に関する事項

- ① 所属学部のアオリエンテーションや履修相談の日時・場所については、所属学部のホームページや『登録要領』等で確認してください。科目登録日程は大学HP (https://www.doshisha.ac.jp/students/course_reg/index.html) に掲載しています。後述の【日程に関する注意】とあわせて確認してください。



- ② 外国語、及び全学共通教養教育科目については、全学共通教養教育センターのホームページの「履修要項・登録要領等」(<https://cgle.doshisha.ac.jp/syllabus/syllabus.html>) で公開している科目の説明や登録方法の動画・資料を確認してください。その上で、外国語、グローバル・リベラルアーツ副専攻、同志社データサイエンス・A I教育プログラム (DDASH) について質問がある場合は、質問受付の機会がありますので、必要に応じて参加してください。なお、初修外国語 (独仏中西露コ) において既習の言語の履修を希望する場合は、4月2日 (水) の外国語の質問受付で必ず担当教員の面談を受けてください。レベルに合わせた科目が認定されます。

大学HP 科目登録日程

【外国語】

今出川校地：4月2日 (水) 15:00-16:00 (良心館 205 教室)

京田辺校地：4月2日 (水) 15:00-16:00 (恵道館 104・106 教室)

【グローバル・リベラルアーツ副専攻、DDASH】

今出川校地：4月2日 (水) 9:00-11:30、12:30-17:00 (良心館1階全学共通教養教育センター事務局)

京田辺校地：4月2日 (水) 10:00-11:30、12:30-16:00 (知真館1号館 207 教室)

全学共通教養教育センターHP

- ③ 入学前に英語のプレイズメントテストを受験できなかった学生は、4月1日 (火) 13:00 ~ 4月3日 (木) 10:30にWEBで実施しますが、受験方法 (アクセスするURL、受験者ID等) は入学前とは異なります。受験方法はDUET にログインし、「授業関連-メッセージ-事務局からのメッセージ」で案内する受験要領を確認してください。
- ④ 『履修要項』、『シラバス』、『登録要領』等をよく確認し、科目の登録を先行登録及び一般登録期間内にすべて終えてください。登録には、外国語教育科目や保健体育科目、演習等、定員が設定されている科目や一定の学力水準が要求されるために抽選や選考を行う科目の登録 (これを「先行登録」といいます) と、それ以外の科目の登録 (「一般登録」) があり、「先行登録」は「一般登録」に先駆けて行います。「先行登録」の申請期間は科目ごとに決められており、「一般登録」の登録期間は4月8日 (火) 10:00-4月9日 (水) 17:00ですので注意してください。一部科目を除く先行登録および一般登録の申請はDUETで受け付けます。操作方法はDUETに掲載のマニュアル等をよく読んでください。

※「DUETによる一般登録_利用上の注意」の内容をよく読んでください。DUETがシステム障害により稼働していない場合については、同志社大学ポータルや大学HPの『在学生の方』にある「重要なお知らせ」にて案内します。

【日程に関する注意】



先行登録：

- ・ 該当科目・受付日程については各学部『履修要項』及び『登録要領』を確認してください。
- ・ **英語はプレイズメントテストの結果により大学で登録しますので、各自で科目登録を行う必要はありません。**ただし、留学準備科目 (Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2、Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2) の履修を希望する場合は、4月3日 (木) 17:00までに各自DUETで科目登録を行ってください。
- ・ **初修外国語 (独仏中西露コ) は各自で科目登録を行う必要があります。4月3日 (木) 17:00までにDUETで科目登録を行ってください。**

一般登録：

登録受付期間：4月8日 (火) 10:00-4月9日 (水) 17:00

- ⑤ 先行登録を行う前に、必ず一度自分の1年間の時間割を組んでみてください。各学部の必修科目や登録を希望する科目を先ず配置して、次に外国語や体育実技等の先行登録を配置してみて、その際、同じ曜日講時に異なる科目が重複しないように注意してください。科目登録が重複した場合など登録エラー発生時には、当該科目の登録静報を事務局で削除する場合があります。

- ⑥ 各科目のDO Week 期間の初回オンデマンド授業、授業概要、授業計画、評価方法、授業形態、テキスト、科目担当者への連絡方法等については、「シラバス」で確認ができます。科目の履修登録は必ずシラバスを確認したうえで行ってください。またDO Week 期間の初回オンデマンド授業を各学期必ず受講してください。シラバスはシラバスシステムから確認できます。また、登録手続きが完了している科目はDUETの登録科目一覧 (「カリキュラム表」表示の場合は  シラバスシステム のアイコン、「時間割表」表示の場合は科目名選択後の  シラバス参照) から各科目のシラバスを確認できます。



シラバスシステム

- ⑦ 一般登録の手続きを終えたら、時間割表示を行い印刷するかスクリーンショットを撮って保存してください。また、DUETの先行登録手続き画面の「申請」ボタン、および一般登録手続き画面の「登録」ボタンを押すと、大学交付のE-mail アドレスにメールが届くので必ず確認してください。アクセス集中やシステム障害によりDUETが使用できない場合、自分の登録した科目の「科目名・担当者名・教室」を把握しておかないと、授業に出られなくなります。各学期の面対授業開始後1~2週間は教室

変更が多く発生するので、必ず授業前にDUETで教室変更がないか確認してください。また、遠隔授業の受講方法等の授業に関する案内がe-classやDUETのメッセージ機能で届く場合がありますので、授業前に必ず確認してください。

- ⑧ DUETの「登録科目一覧」メニューより「登録科目確認表」を4月15日(火)～17日(木)に通知するので、必ずDUETよりダウンロードし、登録エラーが発生していた場合は、4月15日(火)9:00から4月17日(木)17:00までの間に、所属学部案内に従いエラー修正手続きをとってください。
- ⑨ 登録エラー修正は、4月22日(火)～23日(水)にDUETの「登録科目一覧」メニューの「時間表」を参照して、修正した科目が正しく登録されているかを確認(履修科目確認)してください。また、エラーが発生していなかった場合でも、自分が登録した科目・クラスを正しく認識しておいてください。確認した画面を印刷するかスクリーンショットを撮って、保存しておくことが望ましいです。

(8) GPA制度に関する事項

① 成績評価とGPA制度について

履修科目の成績は、春学期末(9月中旬)と秋学期末(3月中旬)に各自に通知します。成績評価はGPA(Grade Point Average)制度に基づいて行われます。各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい、5段階(A, B, C, D, F)で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点(Grade Point)を付与して、1単位あたりの評点平均値=GPA(Grade Point Average)を算出します。GPAは、不合格を意味するF評価の成績も含めて以下の計算式で算出しますが、F評価であった科目を再履修してD以上の評価を得た場合、最後に付いたF評価のみGPAに算入されません。

< 判定基準 >

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

< 算出方法 >

$$GPA = \frac{(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0)}{(A + B + C + D + F)}$$

(A～FはA～Fの評価が付いた科目の単位数合計)

※上記段階評価以外の評価は、合格、不合格、認定となります。

② 履修中止制度について

授業を1か月程度受けてみて望ましい評価が得られないと判断した科目について、各学部・研究科が定める科目を除き、履修を中止することができます。履修中止を認めない科目もありますので、『履修要項』『登録要領』『学部掲示板』を確認してください。履修中止手続きは5月12日(月)～13日(火)にDUETで受付予定です。後日改めて同志社大学ポータルや大学HP、DUET、掲示板等でお知らせします。

③ 成績評価結果・授業講評の公表について

各学部・研究科が定める科目を除き、授業クラス毎の平均点や、評点の分布、科目担当者による講評を大学HP上でシラバス等とリンクして公表します。

④ クレーム・コミッティ(Claims Committee)制度について

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、所属学部窓口にご相談いただけます。学部で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミッティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が授業担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

⑤ 成績評価に関する質問や異議申し立てについて

成績通知日から1週間以内に「採点質問票」で受け付けます。

⑥ 追試験制度について

病気またはやむを得ない事由により、春学期および秋学期の終わりに実施される期末試験を受験できなかった場合、追試験の申請を行うことができます。追試験は通常の試験と同等に評価され、得点の減点が行われません。追試験の受験希望者は、受験できなかった科目の試験日の翌日から起算して3日以内(窓口業務休止日を除く)に、追試験願(追試験ごとに1,000円の追試験料の納入が必要)を所属学部窓口へ提出してください。ただし、課外活動のために受験できない場合は、事前に追試験願を提出し、承認を受けておくことが必要です。追試験願にはその試験を受験できなかった事由を証明する書類の添付が必要です。追試験の対象事由、必要な書類、その他注意事項については、履修要項や大学HP、掲示板で確認してください。なお、追試験を受験できなかった場合には、これに対する追試験は実施せず、追試験料を返還しません。また、期末試験以外の評価についても追試験の対象となることがありますので、所属学部窓口へ照会し、指示を受けてください。その場合の申請にあたっての期限・手続き等の詳細は期末試験と同様です。レポートは追試験の対象にはなりません。提出締切日に突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わなくなった場合は、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り、指示を受けてください。

以上